

2月の衛研検査情報

～トピックス～

年末食品収去検査結果（平成30年度）

年末食品等一斉点検事業は厚生労働省から出された「平成30年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」の通知に基づき、食品流通量が増加する年末及び食中毒患者が最も発生する冬季における食中毒の防止を図るとともに、積極的に食品衛生の向上を図る見地から全国一斉に実施されました。

本市においては平成30年11月1日から12月28日までを年末取締り期間と定め、一斉点検を行いました。そのうち、健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターの収去した検体について、当所が行った食品添加物検査及び細菌検査の結果について報告します。

主な結果 食品添加物検査は、137検体（輸入品84検体、国産品53検体）の食品について、菓子類、肉卵類及びその加工品などを重点的に、保存料、着色料、酸化防止剤など2,435項目の検査を実施しました。その結果、いずれも食品衛生法及び食品表示法に適合していました。細菌検査は、78検体の食品について、食肉製品・洋生菓子・そうざいなど、204項目の検査を実施しました。規格基準違反はなく、洋生菓子と非加熱そうざいで衛生規範不適が4検体ありました。

魚介類中のPCB検査結果（平成30年度）

平成30年6月と12月に中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。

主な結果 検査の結果、1検体からPCBを検出しましたが、検出された値は暫定的規制値（3ppm）以下でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成31年1月は、インフルエンザ流行情報、大麻（マリファナ）、疥癬（かいせん）ってなあに？（電子パンフレット）に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は221,773件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。